

アカシウス寄宿舎学園

声優ごっこイベント

4月11日分 台本

第六話

『潜入！ユグドラシル地下道』

(ちなみに5話は飛ばしています。)

4月10日にお客様に

感情表現を選んで頂いた

完成版

お客様を選んで頂く感情表現

第六話 『潜入！ユグドラシル地下道』

〜錬金術教室から地下道に入りユグドラシル図書館へ進む3人〜

感情

✓まわりを気にしながら

○興味津々に

感情

✓シリアスに

○気軽に

感情

○シリアスに

✓興味津々に

ホウミ「ウオツカお姉様、ここって、

クオーツの同級生が探索したっていう

ユグドラシル図書館への秘密の地下道ですか？」

ウオツカ「そうだが、同じでは無い。」

ホウミ「どういう事ですか？」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

☐考えながわ

✓淡々と

感情

☐重苦しく

✓気軽く

感情

☐少し驚きをいれて

✓ポカンとした感じで

感情

✓重苦しく

☐気軽く

ウオツカ「ユグドラシル地下道は、元々、

皇族の避難用通路として作られたものだったらしい

リーフェンベルク城、ユグドラシル図書館、

そしてアカシウス寄宿舎学園へ繋がっている。

しかしそれとは別の、もう一つの地下道がある」

ホウミ「それは？」

フィンニア「ユグドラシル図書館、禁書庫への道よ」

ホウミ「禁書庫？」

ウオツカ「あまりに危険な呪文書や魔術体系書などを封じた場所だ」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

✓面白そうに

□重苦しく

感情

□重苦しく

✓気軽く

感情

✓考えこみながら

□軽く

感情

□単純な悲鳴

✓少し怯えた悲鳴

感情

□めんどくさそうに

✓軽蔑した感じで

フィニア「そして、禁書指定された書物を

禁書庫へ、秘密裏(ひみつり)に運ぶ為の道が、禁書庫への道よ」

ホウミ「なんかすごそうですね、大丈夫なのですか？」

ウオツカ「地下道を寝ぐらにしているモンスターだけなら、なんとかな…」

「一般のユグドラシル地下道から、禁書庫への道に入った3人」

ホウミ「キヤー、お姉さま、あれ何！！！」

フィニア「うるさいわね、コボルドよ。

ホブゴブリんじゃないだけラッキーと思いなさい！」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

□緊迫して

✓落ち着いて

感情

✓明るく軽い感じで

□真剣な感じで

呪文

✓高い声で

□低い声で

気合（はっの部分）

□引く重い声で

✓少し高めの声で

感情

✓明るく楽しそうに

□少し真剣に

ウオツカ「ホーミイは下がってる！ 私とファイフィーで何とかする

ファイフィー！強化魔法を！」

フィニア「はい、お姉さま！」

フィニア「守護天使イトエナ、邪悪の根絶を願う我らが体に聖衣(せいい)の加護を！」

ウオツカ「よし、行くぞ

はっ！」

フィニア「さあ、続いていくわよ。

デイセリー、ディルド、ガンズン、出でよロックゴーレム！

行つけー、私のゴーレム達」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

✓驚いた感じで

□うわとりしす

感情

□真剣に

✓いぶかしがる感じで

感情

□困惑しす

✓あつとうされて

感情

□真剣に凍としす

✓怯えて押し殺した声で

ホウミ「う、うわ、

お姉さま達、すごすぎです」

↳地下道から扉らしき物のある広場に入った3人

ホウミ「お姉さま！」

ウオツカ「なんだ、このおびただしい数の彫像(ちようぞう)は…」

フィニア「ウオツカお姉さま、これ全部ゴーレムですわ。それも最強の…

恐らくガーディアン、」

お客様に選んで頂く感情表現

感情

✓引き返すか悩む感じで

□あまりめめた感じで

感情

✓真剣に

□考えよみながら

感情

✓軽い感じの声で

□シブい感じの声で

感情

✓驚きのあまり絶叫

□驚きで声が震える感じ

□驚きで悲痛な感じで

ウオツカ「これだけの数、とても相手に出来ないぞ」

ホウミ「あつ、お姉さま、あの壁のボタン

前に同級生が解いたユグドラシルの扉のボタンに似ています。

私、もしかしたら解けるかも」

謎の男「それは助かるなく、皇国のお嬢さん達

我らDSA(ディエスエー)も、それが解けず、ここで立ち往生していてね」

ホウミ「あ、あなたは！」